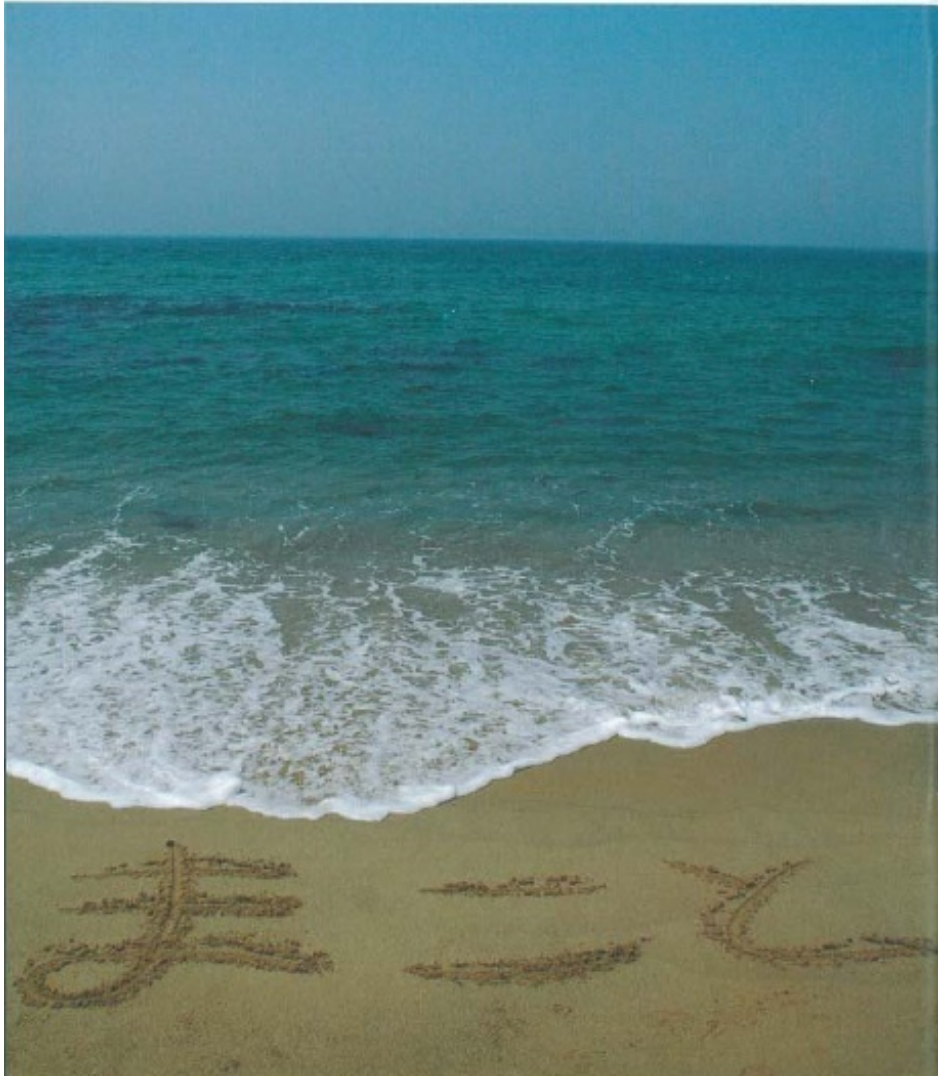


YOUNG BUDDHIST ASSOCIATION MAGAZINE
<http://www2.hongwanji.or.jp/soshiki/yba/>

№ 136

makoto

浄土真宗本願寺派
仏教青年連盟機関誌「まこと」
平成18年7月25日発行
編集／発行：仏教青年連盟 広報委員会
印刷：新文堂印刷株式会社



【まこと136号】

編集・三浦明利 南荘象 中村道明 加藤心樹

デザイン・藤原慈信

写真・中島信 漢英俊

01

特集1

ありがとう。

本願寺の境内で、みなさんに取材にご協力いただきました。

04

本の紹介

特集の「ありがとう」にまつわる本を紹介します。

05

彼國の便り

連載

ほんの少しだけご法義を交えた、馴染みやすい法話。

06

ぶちウマイ広島焼き

特集2

ご当地モノの紹介で、今回は広島に行ってきました。

08

ユニバーサルデザイン

レポート

東海教区で行われた研修会の報告をします。

10

グッズ紹介

仏教青年連盟のオリジナルグッズを紹介します。

告知

行事予定や公募など、いろいろな情報を掲載します。

編集後記

新たな人員編成を向かえた広報委員のコメントです。

ありがとう。

文・南莊 泉 写真・タニイ 溪

みなさん、最近いつ「ありがとう」って言いましたか？
今年もいよいよ仏教青年連盟（YBA）の全国大会が迫ってきました。
8月5・6日に宮崎で開催される、2006年度大会のテーマは「ありがとう」。
そんな「ありがとう」のこと、出会った方々に聞いてみました。



ツグチサトコさん（25歳／音大でフルートを勉強中。卒業後はドイツに留学します。）

今までで一番心に残っている「ありがとう」は？

ドイツに短期間留学していたことがあって、その最終日に友達がたくさん見送りに来てくれた時、とても嬉しくて、ただただ「ありがとう」という言葉しか出てきませんでした。

今、一番「ありがとう」と言いたい相手は？

今フルートを吹くことができるのは、両親や先生や友達みんなのおかげ。周りの人全員に「ありがとう」と言いたいです。

将来の夢は？

ドイツのオーケストラに入りたい！一生フルートを演奏していきたいな。



ナカニシサキさん(22歳)この4月から人材派遣の会社に就職

最近気になっていることは？

毎朝、通勤電車から見えるネコ。室外機の上に寝そべっているんです。

最近いつありがとうって言いました？

さつきバス停で、一緒に待ってたおじいさんに時刻表の見方を教えてもらって「ありがとう」。最近は、人に何かしてもらったら「すみません」ではなく「ありがとう」と言うようにしてらんです。

今、一番「ありがとう」と言いたい相手は？

両親。それはもう22年間育ててもらって。本当に感謝しています。

将来の夢は？

北海道かどこかで動物を飼って、のんびり暮らしたいです。

タナカダイシンさん(22歳)中央仏教学院本科生

最近いつ「ありがとう」って言いました？

あたりまえすぎて覚えてません。言いまくってます。

今まで一番心に残っている「ありがとう」は？

大学でイベントの実行委員長をした時に、自分二人の力で成功させたのではなく、仲間と一緒だったからこそ成功させることができたと感じた時の「ありがとう」。

今、一番「ありがとう」と言いたい相手は？

人との出会いすべてに、「ありがとう」です。

将来の夢は？

人と人をつなげるような仕事がしたいです。とにかく人と関わるのが好きなので。



フカダトヨコさん（78歳／境内の休憩所でみなさんをお待ちしています。）
ムラナガシツミさん（84歳／今日は西本願寺へお参りに来ました。）

最近気になっていることは？

ムラナガさん 家で飼っているバグ犬のクルミちゃんと、猫のモモちゃん。もう、かわいくてかわいくて。

最近いつ「ありがとう」って言いました？

ムラナガさん ついさつき、こちらの方フカダさんとお話している時に。ちょっとしたことでも、いつでも「ありがとう」と言いますね。

フカダさん 私も、どんな時でも「おおきに」「ありがとう」の気持ちを忘れない。ウチの孫がね、なかなか「ありがとう」を口にしないで。そういう言葉が自然に出てくるような子になってほしいなあと思うんだけどねえ。

今、一番「ありがとう」と言いたい相手は？

ムラナガさん 一緒に住んでいる娘や娘の旦那さんには、いつも「ありがとう」という気持ちでいっぱいです。「ありがとう」を口に出して伝えることはとても大事なことです。口に出さなければ伝わらないこともあるの。若い人達にはそれを忘れないでほしいと思います。

将来の夢は？

ムラナガさん こうやって西本願寺にお参りさせてもらって、娘や孫達に迷惑をかけずに毎日過ごしていければ、他に望むことはなにもありませんよ。
フカダさん そりゃもう、阿弥陀さんにまっすぐお浄土に連れて行ってもらうことだけ！

本の紹介

文と写真・エッセー尾形



『ありがとう』
弘川 歩／日本文学館
952円

「この本には俺の言いたいことがそのまま載ってるんですよ」と中央仏教学院時代の友達からの勧めだった。装丁からして心あられる本だなという印象。その場でバラバラと二読すると、そこには読み易そうな詩がいくつも印刷されていた。正直、詩がキレイすぎるなと気にはなったが、せっかくなのでありがたく拝借した。しばらくは心して読む気が起こらなかったが、それに気付くたびに「ありがとう」の文字が目に入り僕に呼びかけた。

著者の弘川さんは「全身関節不安定症」という難病に遭遇してから貴重な生活をこの本に著されている。そこには生・病・死という僕たちが生きるうえで欠かすことのできないテーマがキレイな言葉でリアルに表現されていた。しかし繰り返し読んでみてもイマイチその美しい詩の本質が伝わってこなかったが、しばらくしてそれは読み手の問題であると気付かされた。

弘川さんは自分が病人であるがゆえに、周囲への迷惑をなにより気にかけてられたんだろう。そんな据わりのない生活のなかで、自分が気にも留めなかった行為に「ありがとう」と感謝の言葉をかけられた。そこに「自分の居場所」を見つけられたのだ。「こんな自分でも生きていいんだ」と。そしてその安心と勇気と感謝をこの本で伝えられたかったのだ。

僕たちは「ありがとう」の聞こえだけを捉えがちだが、その中にはお互いの存在を確認しあえる大切な要素がそのままに含まれていることに気付かされなければならない。

彼國の便り

文・加藤心樹

最近の子供向け番組を見ているとおもしろいものが結構たくさんあります。数年前、日曜日の朝のヒーロー番組を見ていた時のことです。その番組ではヒーロー同士が戦うというちょっと意外(?)な光景がありました。

肉親のかたきを討つ為に戦うヒーロー、不死の命を求めて戦うヒーロー、ただ戦いが好きなヒーロー。そしてそのヒーロー同士の戦いを止めさせる為に戦うヒーロー……もうこの辺までくると訳がわかりません。

そのヒーローたちは、自分の思う「正義」のもとに戦ってるんですが、「正義」の理由がヒーローそれぞれ違うんですね。だからヒーロー同士であつても戦つてしまうというものでした。これを見た時に「あ、自分も結構同じかなあ……」と思いました。いろんな理由をつけて都合のいいように生きている私もこんなものなのかもしれませんね。

仏教には「一水四見(いっすいしけん)」という言葉がありますが、文字通り「水」というものを見たときに、4つの見え方があるというものです。少し現代風に例えるとして、雨上がりの水たまりを想像してください。私たち人間には「水たまり」にしか見えませんが、空を飛ぶ鳥には太陽の光が反射してキラキラと輝く「ダイヤ」に見えるかも。地面のアリにはとてつもなく大きい「湖」に見えるかも。また、生きる為の「飲み水」にしか見えない生き物だっているかもしれません。

本来なら生き物の数だけ「水」の見え方は違うはずですが、人間の私にとってはどうしても「水」は「水」にしか見えません。これは私たちの生活の中でも言えることですよね。人の数だけ考え方があつて当たり前なのに、どうしても「自分の考えが正しいはずだ!」と譲らないこともしばしば。

そんな私の姿をずいっと昔から見抜いてくださる仏さま。「お前はそんなモンだよ……」と言われていたような気がしてなりません。しかし、そのような仏さまだからこそ、手を合わせていける私があるような気がしてなりませんね。

合掌

ぶちウマイ 広島焼き

文と写真・ニーム



みんなお好み焼きって知って
るよね。全国的にはやっぱり
「大阪」ってイメージを持つて
る人が多いかもしれないけど、
広島にも美味しいのがたくさ
んあるってのを知ってもらいた
いな。「広島」っていうと「広島
焼き」って呼ばれることがほと
んど。でも広島では普通に「お
好み焼き」って呼んでるんだ
な。



お店の中に入ると、なっなん
と「ターナボックス」があるじ
やないですか！尋ねてみると、
お寺さんの団体がよく来るら
しく、それであるということら
しい。
鉄板の前に座ってしばらく眺
めていると、このお店の作り方

の特徴が見えてきた。共通しているのは最初に生地を広げて焼くこと。その後にキャベツをのせるのが先か、ソバをのせるのが先かはお店によってばらばら。ここではソバが先。

どんなメニューがあるのか聞いてみた。すると「メニューはあるけどお客さんが食べたいものを入れるよ」と、笑顔で答えてくれた。



キャベツを蒸し焼きにするオモシ。

変わった具材としてはキムチ・鮭フレーク・梅干し・納豆とかもあるらしい。一番人気は

「まっちゃんスペシャル」！ネーミングの由来は、お店のオーナーが「まっちゃん」さんだから「まっちゃんスペシャル」。中にはキャベツ・もやし・豚肉・卵・天ぷら・生イカ・生エビ・ソバ・お餅の豪華ラインナップ！



いろいろな具材の旨味がミックスされて、そこにソースが加わって「めっさ旨っ！」と小さく叫んでしまった。いつも食べてるけど飽きはこないなあ。全部残さずいただきました！ごちそうさまでした。

同じお好み焼きでも場所によって呼び方も違えば、作り方も違う。大阪と広島のお好み焼きの違いは知ってたけれど、広島のお好み焼きでもお店によって微妙に作り方が違ってたのには驚いた。でも違いはあっても、どれも美味しいってことには変わりはない。



もうひとつ驚いたのが、やっぱりダーナボックス！今までお寺や事務所や家の中にあるのを見たことあるけど、お店の中にあるのには驚いた。いやあ

感動した。おまけにもうひとつ、なんとお好み焼きの全国発送があるらしい。もちろん冷凍で。ある意味「ヒューツ」だ。さ、次はどこ行こうかな。またいろんな出遇いがあるんだろうな。

番

お好み焼き「まっちゃん」
 広島県三次市江田川之内町59-2
 電話 0824-66-1825
 営業時間 11~18時
 定休日 月曜日



ユニバーサルデザイン

UNIVERSAL DESIGN

文・三浦明利

ユニバーサルデザインはハンディキャップ・年齢・性別・国籍・人種等にかかわらず多様な人々が気持ちよく使えるように都市や生活環境を計画する考え方。「すべての人が人生のある時点で何らかの障害をもつ」ということを発想の起点とし、それまでのバリアフリーデザインとは大きく異なる。建物であれば自動ドアやトイレ、日用品であれば手すりなどもユニバーサルデザインに含まれる。5月27日、東海教区仏教青年連盟・総会・研修会でユニバーサルデザインを通して学ぶ機会がありました。

相手が本当に望むこと

文・大村伸吾

今回の研修ではユニバーサルデザインを通して「他人のものさし」で見る難しさ、「思いやり」とは何かということを学びました。研修では車イス体験・妊婦体験・高齢者体験をさせていただきました。

車イスを乗ることによって今まで気づかなかった段差の怖さや、スロープの大変さ、トイレの不自由さに非





常に驚かされました。車イス用のトイレでも通常の腕力では自分の体を便座に移動させることは不可能な程でした。

高齢者体験では体の関節を固定したうえで、妊婦体験では肩から10kgの砂袋の入ったおもりを装着しながら、日常生活を行う動作を体験させていただきました。私たちが普段何気なくしている、立つ・座る・上る・降りるといった動作のひとつひとつが非常に困難で、「街にもっとベンチがあればなあ」、「手すりがあればなあ」と、多くの不自由さを感じる事ができました。

体験を通して、普段私たちが体の不自由な方々の目線を全く持てていなかったということを感じました。また、体験後のお話では「助けてくれる気持ちは嬉しいが、逆に迷惑になることもある」という体の不自由な方の率直な感想をみんなで見え、思いやり「つて何？」ということ講師の先生も交え、みんなで見え、考える機会を持つことができました。そこでは「やってあげた」という私達の身勝手さ、「相手の本当に望むこと」を教えるため信頼関係の大切さ、「させていただく」という気持ちの大切さを再認識でき、非常に有意義な研修会となりました。

Shopping goods!

本日ご紹介させていただきます商品は、仏教青年連盟（以下、仏青）の教材委員会で製作され、今、静かなブームを巻き起こしつつありますこの厳選された商品、3点をご紹介させていただきます。

うわぁ、楽しみですねえ！

では、早速ご紹介させていただきます。

ハイ、お願いします。

まず、商品番号001番のこちら「腕輪念珠」。この素敵な透明感、素材は厳選されましたプラスチックを使用。誰にでも着けていただけますように、伸縮性の良いゴムひもを採用。季節を問わず、どんな服装にでも合わせていただけます。



うわぁ、ステキですねえ！

本日はゴムひものお色目が異なります3色をご用意させていただきました。

うわぁ、こんなにステキだったらお値段も…。

お任せください！今回は特別価格の150円ッ！さらに仏

青会員の方にはなんと120円の大ご奉仕ッ！

うわぁ、驚きのお値段！これならプレゼントにも最適ですねっ！

ありがとうございます！

続きまして商品番号002番の「クリアファイル」。

うわぁ、待ってました。ちょうど欲しかったんですねえ！



ありがとうございます。この淡い色合いに癒されるんですね。

うわぁ、お子様の勉強で疲れた目にも優しいそうですね。

そうですね、学校や職場での便利さ・使い易さが実証されています。

うわぁ、イイですねえ！で、気になりますお値段はおいくら

なんでしょう？

ズバリ200円ッ！仏青会員価格は120円ですっ！

うわぁ、参りましたあ！

The YBA Sho

そして最後に本日の目玉商品のご紹介！商品番号003番「トートバッグ」。

うわあ、これはいいですねえ！

ありがとうございます！黒を基調に白のシンプルなラインの



デザイン。加えて丈夫で、いろんなところで使っていただけハズだと、自信を持ってオススメさせていただく商品です。

なるほどお、よくわかりました。で、やはりお値段は…。

もうここまで来たら、行くところまで行かせていただきます！ズバリ600円ッ！仏青会員価格は550円でご勘弁ください。

これはもう買うしかないですねっ！

本日は以上ですね。ありがとうございます。本当にいい商品ばかりでしたねっ！

ハイ、ありがとうございます。それでは皆さん、よろしくお願います！



意外と丈夫なタオル。400円(350)



色で分類、クリアケース。400円(350)



ゆったりナップサック。350円(300)



カラフルなビニール名札。60円(50)

()内は仏教青年連盟会員価格

【お問い合わせ】

浄土真宗本願寺派宗務所内

仏教青年連盟事務局

電話 075-137-1151(81代)

ホームページでもお買い求めいただけます。

<http://www2.hongwanji.or.jp/soshiki/yba/>



DANA DANA DANA

『小>大』 文・エッセー尾形

仏青のダーナ募金は、自らが大きな募金をするのではなく、
その小さな募金のお手伝いをさせていただくことに意味があるんだと。
そして、その人たちとのご縁をいただき、ご苦勞をいただき、感謝をいただく。
そうするとなんとなく“私の本質”が見えてくるような気がします。
それがこの小さな募金の大きな目的なんだと。
「できることから始めよう」それが仏青のダーナ募金。

〔ダーナ募金に関するお問い合わせ〕

浄土真宗本願寺派 宗務所内 仏教青年連盟事務局

TEL 075-371-5181(代)

<http://www2.hongwanji.or.jp/soshiki/yba/>

ご希望の方には募金箱をさしあげます。

◎“ダーナ”とはインドのことばで“施し”(ほどこし)を意味し、互いによやまい助けあい、思いやる心を表します。

◎2005年全国真宗青年の集いやまぐち大会で回収させていただきましたダーナ募金57,112円は、
「NPO法人 沙漠緑化アミダの森」へ全額献金させていただきました。ご協力ありがとうございました。

告知

◎2006年全国真宗青年の集い 宮崎大会

2006年8月5日(土)～6日(日)

全国や海外開教区からたくさんの方の参拝や門信徒が集まっています。

会場 ワールドコンベンションセンターサミット

宮崎教区教務所内 実行委員会事務局

電話 0985-221-8022

◎第53回中央研修会

2006年10月21日(土)～22日(日)

仏教青年連盟の会員が中心となって、今後の活動に関しての研修を行います。

さあ、一緒に学んでみませんか？

浄土真宗本願寺派 宗務所内 仏教青年連盟事務局

電話 075-371-5181(代)

◎第55回本山成人式

2007年1月14日(日)

本願寺では今年度成人となられる寺族や門信徒の方を対象に成人式を行います。

ぜひご参加ください。

浄土真宗本願寺派 宗務所内 組織教化部 本山成人式係

電話 075-371-5181(代)

「広報委員会からのお知らせ」

◎ホームページのリニューアルをひかえて、掲載記事を募集いたします。

新しいホームページでは、全国各地の研修会やイベントなどの告知情報を掲載できるようになりますので、お気軽にお寄せください。

例えば「イベントを企画したから、みんなに来てほしい！」など、開催教区・イベント名・日程・簡単な内容・問い合わせ先を明記のうえ、事務局までメールしてください。また、研修会やイベントの報告(レポート)も募集します。記事(800字以内)・写真(3枚程度)を添付のうえ、事務局までメールしてください。

尚、ホームページは毎月1回の更新です。開催日程次第で掲載できない場合もございますので、ご注意ください。

◎「まこと」では読者との双方向性をめざして「こんな記事を掲載してほしい！」などの企画を募集いたします。

例えば「ヘタウマ書道展」(上手く書けなくても味がある書)・「川柳」(サラリーマン川柳的なものからこ法義の味わいあるものまで)・「風景写真」(何気ないところからイイ写真がとれたよとか。写メでも構いません)など、あなたならではの面白い企画を事務局までメールください。また、今回リニューアルした「まこと」のご感想もお待ちしております。

仏教青年連盟事務局メールアドレス yba@hongwanji.or.jp

ひとりでも多くのみなさんのご意見を反映できるように充実させていきたいと思っておりますので、ご協力とご支援をよろしくお願い致します。

【編集後記】三浦 明利・カフェLIVEしに行くとき、必ずフリーペーパーを手を取ったりする。「まこと」がカフェとか雑貨屋とか、どこでも置いてるペーパーになるといいなあ……と。なんだかそんなイメージに少し近づけたんじゃないかなと思う。編集のみんなで飲むBBERがやっぱり一番おいしいわ。南庄 泉・「ありがとう。」のページでインタビューさせてもらった休憩所のおばちゃんの写真にやられた。ホント、あこがれます。加藤 心樹・そうバイそうバイ。(みんなで飲むビールが美味しいこと)日曜日の朝のヒーロー番組見逃しまくり。乗り遅れちゃうワ。全国大会のPV鬼で作るばい。またまた寝れない日々が続くのか……(涙)。めざせアクションPVツーマシンフル稼働!!ニTEAMこと中村 道明・自転車(通称チャリコ)が大好きでいつも乗ってます。それが今回の取材に役立つとは思いませんでした。どんな成り行きか知らんけど、広報会議で「特集、中村が行く!」とか一方的に掲載記事が決定した。正直「オイオイ……」と思ってしまった。どないすんの? チャリスタイルで取材行つて、ドン引きされら……と考えるととても不安でした。せやけど、それもアリかなと。ズーツと前からよく食べに行つたお好み焼き屋さんか思い浮かんできた。これも何かの縁かなと思つて今回の取材の経緯を話したら、快く承諾してもらえたのはちよつぱり感動。それからトントントン拍子に取材は進んでいって、いろんな写真を撮ったり、コメントをもらったり。二応商売してはるんで、取材の時間に気を遣つたり……せりやそうだわ。出来上がった「まこと」をスグにオーナーに見せてあげたいなあと思いつつ、またチャリコに乗つてます。エッセー尾形こと藤原 慈信・今回初めて参加させてもらつて「自分でできることは?」と思つてデザインを担当しました。私的には文もデザインもやつてただけで、こんな公の冊子を作つたのは初めてです。イイ意味で「未経験」を言い訳に、やりたい放題させてもらいました(笑)。作るうえで広報のみんなにお世話になつて、事務局や周りのいろんな人にお世話になつて……分かつていてもやっぱり感謝は尽きないモンだと気付かされました。今回写真を提供していただいた中島さん、恐らく仕上がりが腑に落ちないであろうダニー溪(笑)、ありがとうございます。本当に自分でできることつて実はデザインなんかじゃなくて感謝させてもらうことだけでした。……キマつた!



【浄土真宗本願寺派仏教青年連盟広報委員会】
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派 宗務所内
電話 075-371-5181(代)
E-mail yba@hongwanji.or.jp
<http://www2.hongwanji.or.jp/soshiki/yba/>